

サマーコンファレンス2017「先端技術がここにある！未来のライフスタイルブース」
シナリオ

10:00	碓委員長	皆さん、こんにちは!ようこそ、サマーコンファレンス 2017 へ!ご来場をいただきありがとうございました。公益社団法人日本青年会議所 経済再生グループ シンギュラリティ研究委員会の委員長を務めさせていただきます。碓と申します。最後までどうぞ、宜しくお願いいたします。さて【先端技術がここにある！未来のライフスタイルブース】の説明に移ろうと思います。
10:03	司会者	碓委員長ありがとうございました。それでは講師の紹介に移ろうと思います。講師の時東あみ氏は、サンミュージックプロダクション所属されており、ボランティアや介護に興味をもち「つくく む」氏の進めで2007年に防災士の資格 を取得されました。防災に関する意識の向上に繋げるため、講 演等の活動に尽力されております。今回は、防災に関するお話と、ブースの紹介をしていただこうと思います。それでは、講師の時東あみ氏の入場です。皆様、拍手でお出迎えください。
10:04	時東あみ氏	【なぜ防災士の資格を取得しようと思ったのか】 私が防災士の資格を取得しようとしたきっかけは、ボランティアや介護等に興味を持っていることを、お世話になっていたプロデューサーの「つくく む」さんにお話ししたところ、取得して意義のある資格として「防災士」を紹介され、是非とも取得しようと思い 2007 年に防災士研修を受講しました。 防災士研修を受講されて、どう思われましたか 教材が届いたときは、教本の厚さにびっくりしました。また、本当に防災士研修を受けて、ついていけるかなと思いました。 しかし、実際、防災士の研修を受けてみて、考えは変わりました。今まで正しいと思っていたことがズレていたと思いました。 また、避難訓練以外のもっと必要な知識ってこんなにあったのだと思いました。 例えば、地震の際に机の下にもぐり、机の脚の下の部分を持つよりも、上の部分を持ったほうが安定し、怪我をすることも少ないことを防災士研修で初めて知りました。 また、家族や友人など大切な人たちを守りたいと思った時に、まず、自分自身を守らなければいけないという「自助」について学びました。災害が起きても、自分が怪我をしていないことを前提に考えていましたが、自分が怪我していない保証はないですね。まずは自分の身は自分で守るという「自助」が大切だと思いました。そして、防災士研修で身につけた知識を家族や友人など大切な人に伝えて、自分の身を自分で守ってもらうということも学びました。 【防災士になって、変化したこと】 現在、所属しているサンミュージックプロダクションでは、防災グッズをタレントさんや社員の方に配布しています。年々、最新のものも配られ、増えていっています。配られる防災グッズの関心とともに、防災士になっ

		て備蓄品などの関心が高くなりました。 また、防災士研修を受講して、まず、上の物が落ちやすい危ない家具の整理や片付け、倒れてきそうな家具の固定をしました。大きな地震が起きて、家が壊れなくても、一番無防備な状態の寝ているときに重たいタンスなどが倒れてきてしまうと大変なことになってしまいます。 3.11 の地震の時は家具の整理をしていたので、ポテトチップスの袋が落ちただけでした。また、常日頃より防災の意識が身につくようになりました。 「防災士」の資格を持っていると、地震がおきた時に心の余裕ができました。3.11 の地震の時も落ち着いて近くにいる人に机にもぐるように冷静に伝えることができました。 【今後について】 私は、タレントというお仕事から、皆様に「何かを発信できる、伝えられる」機会に恵まれていると思います。お世話になっていた「つくくみ」さんに紹介してもらった防災士の資格を私が取得することによって、家族や会社の方、もちろん私のファンになって頂いている方々に知ってもらえたらと思っています。そして防災に関して意識の高い方々が増えたらいいなと思っていますし、できる範囲で、皆様に防災の事を考えていただけるように発信していければと考えています。一人一人の防災の意識が変われば、絶対に助かる命があると信じています。
10:30	時東あみ氏	それでは、各ブースの紹介に移ろうと思います。 【安川電機株式会社】 安川電機株式会社様は、1915 年創業の福岡県北九州市に本拠地を置き、日本を代表する、電動機（モーター）とそれを応用した商品を作成する会社です。 本日は、ロボットアームでアイスクリームを作る実演をさせていただいております。 どうぞ、ご覧ください。 【パナソニック株式会社】 パナソニック株式会社様は、1918 年の創業以来、事業を通じて世界中の皆様の「くらし」の向上と 社会の発展に貢献することを基本理念とし、あらゆる活動をされております。 本日は、新技術により我々の生活がどのように変化するのかを体感することができる、4か国語 同時通訳を行えるメガホンなど、手に取って体験できるものを展示して頂いております。 どうぞ、ご覧ください。 【インテル株式会社】 インテル株式会社様は、インテルプロセッサの他にも多くの事業を手がけておられます。コンピューティング・イノベーションを通じて、相互に

	接続された最先端テクノロジーの限界を押し広げ、地球上のあらゆる人々が利用できる驚異的な体験の実現に取り組まれています。 近年AIの進化は単に性能の高いコンピュータが出現するというものではなく、農業などテクノロジーの進歩とあまり関係のない分野にも影響を与え、社会のあらゆるものが変化していくということを体感して頂きます。どうぞ、ご覧ください。 【株式会社アドインテ】 株式会社アドインテ様は、閃きとアイデアと知性から独創性の高いインターネット・IT サービスを実現し、業界とマーケットにイノベーションを起こされています。 この度は顔認証技術などの新技術を実際に体感し、これがどのように社会に影響を与えるかを実感して頂けます。どうぞ、ご覧ください 【鹿島建設株式会社】 鹿島建設株式会社様は、1840年の創業から現在に至るまで、人々が安全・安心で快適に暮らすことができる社会をめざし、建設事業を通じて産業・経済の発展に貢献されておられます。 この度は新技術により、建設現場などの仕事がどのように変化をするのかを体感し、AIの進化、ビッグデータの活用などが実施どのように我々の働き方に変化を与えるか体感して頂けます。どうぞ、ご覧ください 【ローム株式会社】 ローム株式会社様は、つねに品質を第一とされています。いかなる困難があろうとも、良い商品を国内外へ永続かつ大量に供給し、文化の進歩向上に貢献されています。 この度回路、半導体を組み合わせた「LAZURITE FLY」技術を使用した折り鶴がプログラミングにより、羽ばたき飛行する（ロボット鶴）の飛行を実演してもらい、最先端のロボット技術の体験を行ってもらいます。ブースでは、プログラミングの様子や電子回路、モーターの組み立て様子を観察し、ロボットの精密さを体感して頂けます。どうぞ、ご覧ください 【サイバーダイン株式会社】 サイバーダイン株式会社様は「サイバニクス：人・ロボット・情報系の融合複合技術」を駆使して、「人に寄り添う革新的テクノロジー」の研究開発から社会実装に至るまで、社会が直面する課題を解決し、その解決法を基に新産業を創出されています。
--	---

		この度は重量物を運ぶ作業時の身体への負担軽減用のロボットスーツ、HAL を展示してもらい、ロボットスーツ着用時と未着用時でどのくらい負荷の違いがあるかを実体験して頂けます。 どうぞ、ご覧ください □文部科学省 文部科学省では、産学官が連携する仕組みをつくり、地震・津波、火山の調査・研究による成果の創出と社会実装、研究人材の育成により防災の取り組みに繋げるほか、防災の学習や学校施設の耐震化等を通じて、子供たちの「生きる力」を育むと同時にその安全と地域の防災力向上に貢献しています。 □株式会社 NTT ドコモ 大きな地震が起きると大きな音で知らせるエリアメール。その着信音が 1 つではないってご存知ですか？音の違いとメールを受信したときの行動と心得についてご紹介します。また、エリアメールのブザー音を使った、より臨場感のある訓練ができる「地震防災訓練アプリ」をご紹介します、実際の訓練に近いものを体感して頂けます。 □FACE BOOK JAPAN 東日本大震災では、Facebook で大切な人に、すぐ無事を伝えることができました。Facebook では、安否確認通知がボタン一つで送れる「災害時情報センター」を強化しています。また、防災情報を身近に感じて頂くため、防災活動団体の公式 Facebook ページ作成を応援しています。 □株式会社セブンアンドアイ・ホールディングス セブン&アイ・ホールディングスは大規模災害発生時においても、可能な限り店舗の営業を継続し、地域のライフラインとしての役割を果たすことを使命に災害対策に注力しております。今回は近年の災害時における対応、災害マップシステムセブン VIEW、そして燃料備蓄についてご紹介し日常生活の中での防災を体感して頂けます。 □NTT タウンページ株式会社 いざ！という時に役立つ情報を厳選した防災タウンページは、「子どもと避難場所を確認したり、災害のことを話すきっかけとなった」等の声をいただいております。当日ブースでは特別版として、子ども向けの防災タウンページを配布し、防災に役立つ情報を受け取って頂けます。 □一般社団法人 防災ガール ネットで大反響を呼んでいる津波防災のプロジェクト#beORANGE のグ
--	--	---

	ッズ「パラコードミサンガ」の使い方の実践と着用ができます。展示パネルでは、これまでの活動の様子を展示しております。ワークショップでは、いざという時に役立つ、ひもの結び方を防災ガールから学んで頂けます。 □東京大学地震研究所 地震研究所では地震・火山現象とそれによる災害軽減の探究をミッションとしています。今回は、最先端観測技術の例として、海底において地震と津波をリアルタイムで観測できる海底ケーブル式観測システムの展示、および素粒子を用いて、火山や地球全体の内部を透視する研究の説明を受けて頂けます。 □京都大学防災研究所 京都大学防災研究所では、巨大災害に備え、日々防災・減災の研究・教育を行っています。その成果を生かし、防災・減災について楽しく学べるゲーム・体験コーナーにおいて、防災・減災について、楽しみつつ体感して頂けます。 □東京大学生産技術研究所 加藤孝明研究室 東京大学生産技術研究所加藤孝明研究室では、都市計画とまちづくりを通して地域の安全性を考える「地域安全システム学」を研究しています。災害現象の解明、地域社会における防災まちづくりの実践、災害復興の研究、AR・VR等の最新技術を用いて安全・安心社会づくりへの貢献を進めています。 □NTT レゾナント株式会社 気象・災害ニュースや、避難所・公共施設・公衆電話の場所を確認できる防災マップの他、各自治体等が配信する災害情報の受信もできる総合防災アプリです。「J-anpi〜安否情報まとめて検索〜」サービスを利用した安否情報検索・登録ができるなど、災害時に役立つ機能を数多く搭載し、未来の防災を体感して頂けます。 □国土交通省 国土技術政策総合研究所 国総研(こくそうけん)は、「毎日明るく、安心してくらせるように」、「安全で、住みやすい街になるように」、「美しい地球を未来に引きつげるように」、する研究所。災害から皆さんを守る、道や川や街の「ぼうさい」に取り組んでいます。地震、水害、土砂災害からの「ぼうさい」技術を紹介し、参加者に役立つ技術を体感して頂けます。 □（公社）全国公民館連合会
--	---

		公民館はいま全国各地に約 1 万 5000 館あり、いざというときの避難所として利用されています。全国公民館連合会では、公民館の避難所機能を高めるために、日頃の備えや対応についてまとめた「災害対策ハンドブック」を刊行しており、ブースで学ぶことができます。
11:00	司会	ブースの紹介、ありがとうございました。時東あみ氏のご退場されます。皆様、拍手で見送りください。
13:00 ～ 13:30	時東あみ氏	それでは、各ブースの紹介に移ろうと思います。 【安川電機株式会社】 安川電機株式会社様は、1915 年創業の福岡県北九州市に本拠地を置き、日本を代表する、電動機（モーター）とそれを応用した商品を作成する会社です。 本日は、ロボットアームでアイスクリームを作る実演をさせていただいております。 どうぞ、ご覧ください。 【パナソニック株式会社】 パナソニック株式会社様は、1918 年の創業以来、事業を通じて世界中の皆様の「くらし」の向上と 社会の発展に貢献することを基本理念とし、あらゆる活動をされております。 本日は、新技術により我々の生活がどのように変化するのかを体感することができる、4か国語 同時通訳を行えるメガホンなど、手に取って体験できるものを展示して頂いております。 どうぞ、ご覧ください。 【インテル株式会社】 インテル株式会社様は、インテルプロセッサの他にも多くの事業を手がけておられます。コンピューティング・イノベーションを通じて、相互に接続された最先端テクノロジーの限界を押し広げ、地球上のあらゆる人々が利用できる驚異的な体験の実現に取り組まれています。 近年 AI の進化は単に性能の高いコンピュータが出現するというものではなく、農業などテクノロジーの進歩とあまり関係のない分野にも影響を与え、社会のあらゆるものが変化していくということを体感して頂きます。 どうぞ、ご覧ください。 【株式会社アドインテ】 株式会社アドインテ様は、閃きとアイデアと知性から独創性の高いインターネット・IT サービスを実現し、業界とマーケットにイノベーションを起こされています。

		この度は顔認証技術などの新技術を実際に体感し、これがどのように社会に影響を与えるかを実感して頂けます。 どうぞ、ご覧ください 【鹿島建設株式会社】 鹿島建設株式会社様は、1840年の創業から現在に至るまで、人々が安全・安心で快適に暮らすことができる社会をめざし、建設事業を通じて産業・経済の発展に貢献されておられます。 この度は新技術により、建設現場などの仕事がどのように変化をするのかを体感し、AIの進化、ビッグデータの活用などが実施どのように我々の働き方に変化を与えるか体感して頂けます。 どうぞ、ご覧ください 【ローム株式会社】 ローム株式会社様は、つねに品質を第一とされています。いかなる困難があろうとも、良い商品を国内外へ永続かつ大量に供給し、文化の進歩向上に貢献されています。 この度回路、半導体を組み合わせた「LAZURITE FLY」技術を使用した折り鶴がプログラミングにより、羽ばたき飛行する（ロボット鶴）の飛行を実演してもらい、最先端のロボット技術の体験を行ってもらいます。ブースでは、プログラミングの様子や電子回路、モーターの組み立て様子を観察し、ロボットの精密さを体感して頂けます。 どうぞ、ご覧ください 【サイバーダイン株式会社】 サイバーダイン株式会社様は「サイバニクス：人・ロボット・情報系の融合複合技術」を駆使して、「人に寄り添う革新的テクノロジー」の研究開発から社会実装に至るまで、社会が直面する課題を解決し、その解決法を基に新産業を創出されています。 この度は重量物を運ぶ作業時の身体への負担軽減用のロボットスーツ、HALを展示してもらい、ロボットスーツ着用時と未着用時でどのくらい負荷の違いがあるかを実体験して頂けます。 どうぞ、ご覧ください □文部科学省 文部科学省では、産学官が連携する仕組みをつくり、地震・津波、火山の調査・研究による成果の創出と社会実装、研究人材の育成により防災の取り組みに繋げるほか、防災の学習や学校施設の耐震化等を通じて、子供たちの「生きる力」を育むと同時にその安全と地域の防災力向上に貢献しています。
--	--	--

□株式会社 NTT ドコモ

大きな地震が起きると大きな音で知らせるエリアメール。その着信音が 1 つではないってご存知ですか?音の違いとメールを受信したときの行動と心得についてご紹介します。また、エリアメールのブザー音を使った、より臨場感のある訓練ができる「地震防災訓練アプリ」をご紹介します、実際の訓練に近いものを体感して頂けます。

□FACE BOOK JAPAN

東日本大震災では、Facebook で大切な人に、すぐ無事を伝えることができました。Facebook では、安否確認通知がボタン一つで送れる「災害時情報センター」を強化しています。また、防災情報を身近に感じて頂くため、防災活動団体の公式 Facebook ページ作成を応援しています。

□株式会社セブンアンドアイ・ホールディングス

セブン&アイ・ホールディングスは大規模災害発生時においても、可能な限り店舗の営業を継続し、地域のライフラインとしての役割を果たすことを使命に災害対策に注力しております。今回は近年の災害時における対応、災害マップシステムセブン VIEW、そして燃料備蓄についてご紹介し日常生活の中での防災を体感して頂けます。

□NTT タウンページ株式会社

いざ!という時に役立つ情報を厳選した防災タウンページは、「子どもと避難場所を確認したり、災害のことを話すきっかけとなった」等の声をいただいております。当日ブースでは特別版として、子ども向けの防災タウンページを配布し、防災に役立つ情報を受け取ってもらえます。

□一般社団法人 防災ガール

ネットで大反響を呼んでいる津波防災のプロジェクト#beORANGE のグッズ「パラコードミサガ」の使い方の実践と着用ができます。展示パネルでは、これまでの活動の様子を展示しております。ワークショップでは、いざという時に役立つ、ひもの結び方を防災ガールから学んで頂けます。

□東京大学地震研究所

地震研究所では地震・火山現象とそれによる災害軽減の探究をミッションとしています。今回は、最先端観測技術の例として、海底において地震と津波をリアルタイムで観測できる海底ケーブル式観測システムの展示、および素粒子を用いて、火山や地球全体の内部を透視する研究の説明を受けて頂けます。

		□京都大学防災研究所 京都大学防災研究所では、巨大災害に備え、日々防災・減災の研究・教育を行っています。その成果を生かし、防災・減災について楽しく学べるゲーム・体験コーナーにおいて、防災・減災について、楽しみつつ体感して頂けます。 □東京大学生産技術研究所 加藤孝明研究室 東京大学生産技術研究所加藤孝明研究室では、都市計画とまちづくりを通して地域の安全性を考える「地域安全システム学」を研究しています。災害現象の解明、地域社会における防災まちづくりの実践、災害復興の研究、AR・VR等の最新技術を用いて安全・安心社会づくりへの貢献を進めています。 □NTT レゾナント株式会社 気象・災害ニュースや、避難所・公共施設・公衆電話の場所を確認できる防災マップの他、各自治体等が配信する災害情報の受信もできる総合防災アプリです。「J-anpi〜安否情報まとめて検索〜」サービスを利用した安否情報検索・登録ができるなど、災害時に役立つ機能を数多く搭載し、未来の防災を体感して頂けます。 □国土交通省 国土技術政策総合研究所 国総研(こくそうけん)は、「毎日明るく、安心してくらせるように」、「安全で、住みやすい街になるように」、「美しい地球を未来に引き上げるように」、する研究所。災害から皆さんを守る、道や川や街の「ぼうさい」に取り組んでいます。地震、水害、土砂災害からの「ぼうさい」技術を紹介し、参加者に役立つ技術を体感して頂けます。 □（公社）全国公民館連合会 公民館はいま全国各地に約 1 万 5000 館あり、いざというときの避難所として利用されています。全国公民館連合会では、公民館の避難所機能を高めるために、日頃の備えや対応についてまとめた「災害対策ハンドブック」を刊行しており、ブースで学ぶことができます。
13:30 ～ 14:00	時東あみ氏	【なぜ防災士の資格を取得しようと思ったのか】 私が防災士の資格を取得しようとしたきっかけは、ボランティアや介護等に興味を持っていることを、お世話になっていたプロデューサーの「つんく♂」さんにお話ししたところ、取得して意義のある資格として「防災士」を紹介され、是非とも取得しようと思い 2007 年に防災士研修を受講しました。

		防災士研修を受講されて、どう思われましたか 教材が届いたときは、教本の厚さにびっくりしました。また、本当に防災士研修を受けて、ついていけるかなと思いました。 しかし、実際、防災士の研修を受けてみて、考えは変わりました。今まで正しいと思っていたことがズれていたと思いました。また、避難訓練以外にもっと必要な知識ってこんなにあったのだと思いました。 例えば、地震の際に机の下にもぐり、机の脚の下の部分を持つよりも、上の部分を持ったほうが安定し、怪我をすることも少ないことを防災士研修で初めて知りました。また、家族や友人など大切な人たちを守りたいと思った時に、まず、自分自身を守らなければいけないという「自助」について学びました。災害が起きても、自分が怪我をしていないことを前提に考えていましたが、自分が怪我していない保証はないですね。まずは自分の身は自分で守るという「自助」が大切だと思いました。そして、防災士研修で身につけた知識を家族や友人など大切な人に伝えて、自分の身を自分で守ってもらうということも学びました。 【防災士になって、変化したこと】 現在、所属しているサンミュージックプロダクションでは、防災グッズをタレントさんや社員の方に配布しています。年々、最新のものも配られ、増えていっています。配られる防災グッズの関心とともに、防災士になって備蓄品などの関心が高くなりました。 また、防災士研修を受講して、まず、上の物が落ちやすい危ない家具の整理や片付け、倒れてきそうな家具の固定をしました。大きな地震が起きて、家が壊れなくても、一番無防備な状態の寝ているときに重たいタンスなどが倒れてきてしまうと大変なことになってしまいます。 3.11の地震の時は家具の整理をしていたので、ポテトチップスの袋が落ちただけでした。また、常日頃より防災の意識が身につくようになりました。 「防災士」の資格を持っていると、地震がおきた時に心の余裕ができました。3.11の地震の時も落ち着いて近くにいる人に机にもぐるように冷静に伝えることができました。 【今後について】 私は、タレントというお仕事から、皆様に「何かを発信できる、伝えられる」機会に恵まれていると思います。お世話になっていた「つんくみ」さんに紹介してもらった防災士の資格を私が取得することによって、家族や会社の方、もちろん私のファンになって頂いている方々に知ってもらえたらと思っています。そして防災に関して意識の高い方々が増えたらいいなと思っていますし、できる範囲で、皆様に防災の事を考えていただけるように発信していければと考えています。一人一人の防災の意識が変われば、絶対に助かる命があると信じています。
14:00	司会	ブースの紹介、ありがとうございました。時東あみ氏のご退場されます。皆様、拍手で見送りください。

17:55	碇委員長	皆様、最後までお付き合いをいただき、誠にありがとうございました。本日の話を聞いて面白かったなや良かっただけで終わらせず、地元に帰って実践してください。 本日はありがとうございました。